



じしょけい  
V: 辞書形

基 本

例 文

① <sup>ねんせい</sup>2年生は<sup>じ</sup>5時から<sup>たいいくかん</sup>体育館を<sup>つか</sup>使うことが  
できます。

② <sup>きょう</sup>きょう、<sup>バスケットボール</sup>バスケットボールの<sup>れんしゅう</sup>練習をする  
ことができません。

③ A: <sup>でんわ</sup>あの<sup>がいこく</sup>電話で<sup>でんわ</sup>外国に電話が  
できますか。  
B: はい、できます。

④ <sup>なかやま</sup>中山さんは<sup>200</sup>200メートル<sup>およ</sup>泳ぐことが  
できます。

⑤ わたしは<sup>かんじ</sup>漢字を<sup>か</sup>50書くことができます。

⑥ A: <sup>なかやま</sup>中山さんは<sup>くるま</sup>車の<sup>うんてん</sup>運転が  
できますか。  
B: いいえ、できません。

解 説

A. 「Vこと」は、<sup>おこな</sup>N1が行うことができる<sup>どうさ</sup>動作。(例文①②④⑤)

B. Nは「Nする」(<sup>どうし</sup>する動詞)のNにあたる<sup>めいし</sup>名詞。(例文③⑥)

C. Nあるいは「Vこと」をするのが<sup>かのう</sup>可能であることを<sup>あらわ</sup>表す。(例文①②③)

D. Nあるいは「Vこと」をする<sup>のうりよく</sup>能力があることを<sup>あらわ</sup>表す。(例文④⑤⑥)

E. N、「Vこと」が何であるかわかっている場合は、「Nが」「Vことが」を<sup>しょうりやく</sup>省略することがある。  
(例文③⑥)

## 先生へ

「できます」は「します」の可能形。

つか どうし いし どうし かぎ い か にほん ごのうりよくし けん きゅうそうとう む いし どうし つか  
使える動詞は意志動詞に限られる。以下の日本語能力試験4級相当の無意志動詞は使えない。

わかる、要る、疲れる、生まれる、曇る、咲く、降る、始まる、閉まる、晴れる、かかる

「する動詞」以外にも「Nができます」とすることができる場合がある。日本語能力試験4級では次のようなものがある。

テニスをします                      テニスができます

にほんご はな                      にほんご  
日本語を話します                      日本語ができます

「Vことができます」は、日本語能力試験3級相当の項目。

「友だちができます」「ビルができます」とは用法が違うので注意すること。

つか どうし せいげん                      れんしゅう                      ちゅうい  
使える動詞に制限があるので、練習のとき注意すること。

### 【関連項目】

- 活-03    V辞書形
- 文-25    Vこと
- 文-52    V(られ)ます(可能)

### 【「れんしゅう編」の練習】

- 9-6    スポーツテスト
- 9-7    健康チェック